



周期的ホルモン補充療法について

● 周期的ホルモン補充療法とは？

- 月経が不順な状態が続くと、**エストロゲン** (卵胞ホルモン) が不足して骨粗鬆症など全身に影響が及びます。周期的ホルモン補充療法は、エストロゲンを補充するとともに、定期的に月経を起こさせる治療です。
- 排卵は止まりますので、すぐに妊娠を希望する方には行いません。

● ホルムストロム療法

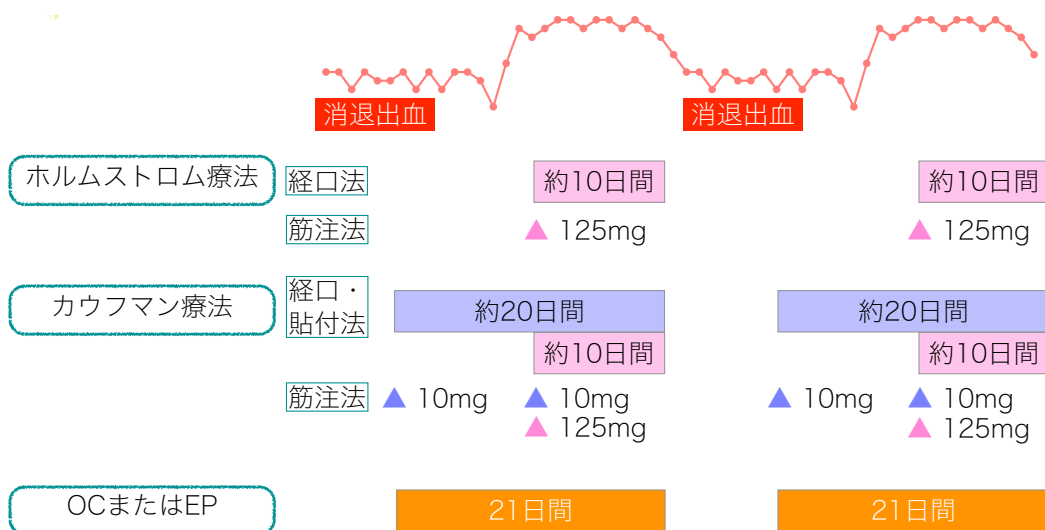
- 月経を起こさせるために必要な**プロゲステン** (黄体ホルモン) を補充する方法です。
- 卵巣からエストロゲンがある程度分泌されている軽症の排卵障害や多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) が適応です。
- プロゲステン製剤を月経周期の14日目頃に筋肉注射するか、14日目頃から10日間服用します。注射から10~12日後、または内服終了3~4日後に月経が起こります。

● カウフマン療法

- **エストロゲン**と**プロゲステン**の両方を補充する方法です。
- 卵巣からのエストロゲン分泌が足りない重症の排卵障害や卵巣性無月経が適応です。
- 卵巣性無月経では、治療中や治療終了後の「リバウンド現象」によって眠っていた卵巣が働き始めることがあり、排卵誘発を目的として行うこともあります。
- エストロゲン製剤を月経周期の5日目頃から20日間服用し、後半の10日間にプロゲステン製剤を併用します。内服終了3~4日後に月経が起こります。筋肉注射を月に2回行う方法もあります。

● 低用量ピル

- 月経痛や過多月経、月経前症候群などの症状がある方、男性ホルモンが高い多嚢胞性卵巣症候群、避妊を希望する方には「低用量ピル」をおすすめします。



■▲：エストロゲン製剤, ■▲：プロゲステン製剤, ■：EP合剤